

諏訪地方の経済概況速報

平成24年 9月

(平成24年 8月末調査)

平成24年 9月20日

長野県岡谷市郷田2丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【7月】	諏訪公共職業安定所管内	0.78 倍	+0.06 ポイント	
手形交換高【 8月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,240 枚	△1,899 枚	
	金 額	9,282 百万円	△2,835 百万円	
	うち不渡り	枚 数	6 枚	+6 枚
	発生状況	金 額	1,658 千円	+1,658 千円
電力使用量【 8月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	44,008 MWh	+3.9 %	
	高圧電力計	98,375 MWh	△3.1 %	
	合 計	142,383 MWh	△1.1 %	
車庫証明取扱件数【 8月】(諏訪地方合計)		856 件	+6.6 %	
新設住宅着工戸数【H24.4月～7月】(諏訪管内)		340 戸	△3.1 %	

□ 本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

諏訪地方では、8月の車庫証明件数の伸びが、これまでより鈍化した。自動車部品関連の下請け企業の足元の受注は引き続き堅調な所が多いが、エコカー補助金終了後の需要減が危惧されている。多くの分野で国内外での価格競争がある上、中国をはじめとする世界経済の動向や国内政局、消費増税など不安要素が多く、先行きが懸念されている。韓国や台湾との取引が多くなってきた企業の中には、領土問題の影響を懸念する声もある。商業では、ロンドン五輪効果に明暗があり、地元食品スーパーの廃業や大型店の撤退方針が明らかになり、競争激化の深刻さが現れている。

●製造業

収益性の厳しさの中で、自動車部品関連の下請企業の足元の受注は概ね好調に推移しているが、取引先や加工内容によっては低調な面も出始め、一部に減産予定もある。産業設備関連で工作機械は、中国や欧州の景気減速で売上が伸び悩む一方、自動車関連を中心に増加傾向もあり、世界情勢の影響を受けた業況となっている。搬送用機械は需要があり堅調で、電子部品はメーカー差があるものの、スマートフォン関連が概ね順調に推移している。半導体関連は一部で持ち直しの動きがあるが、汎用物は海外生産が主流になっている。医療機器関連の受注は堅調で、エアコン、冷媒部品・機器も国内、海外とも安定している。

●商業

諏訪地方の8月の天候は、1945年の長野地方気象台統計開始以来、8月としては4番目の高温で、日照時間も過去3番目の多照を記録した。真夏日が続き、例年だと盆過ぎには下降傾向になる飲料や冷麺、冷菓類は売れ行きが続いた。ロンドン五輪は、スポーツ用品やテレビ観戦のための軽食や酒類などの売り上げが伸びた。反面、飲食店などでは苦戦する所もあった。

自動車販売は、諏訪地方の 8 月の車庫証明件数が 856 台で、前年同月比では 53 台増加(+6.6%)しているが、伸び率は 7 月の 37.6%から大幅に縮小した。前月比では、4 月から 7 月まで増加が続いていたが、297 台(△25.8%)の減少となった、エコカー補助金の追い風が終息に向かい、今後の反動が予想される中、補助金申請時期の関係で「盆までが勝負」として力を入れた販売店があった一方、割安な新車が増えたことなどで「減ったという感じはあまりない。むしろ消費増税が心配」とする声もある。大きな駆け込み需要はなかった。

●観光業・サービス業

8 月 15 日の第 64 回諏訪湖祭湖上花火大会は、約 50 万人の見物客が集まった。上諏訪温泉の宿泊客数は、昨年東日本大震災の影響で増加した反動が危惧されたが、天候に恵まれ、サマーナイトフェスティバルの定着などで、総体的には前年並みとなった。高原の施設も総じて売り上げを前月比で大幅に伸ばし、前年同期比でも増加した所が多い。宿泊客数は施設によって区々だが、長引いた猛暑で首都圏や近県から涼を求める観光客が盆過ぎにも増えた。秋の観光シーズンに向けた予約も順調な施設が多い。また、モトクロス大会が開かれた富士見町の観光施設では前年同期比 6,000 人増の来場者があった。諏訪大社の 8 月の参拝者数は約 77 千人で前月より増加しているが、前年同期比では減少した。

●建設業

市町村の 8 月の発注工事は、建築工事 9 件、土木工事及び下水道工事 40 件、その他工事 5 件の合計 54 件 451 百万円で、前年同月比で件数は 33 件減少、契約金額は 159 百万円の減少となった。県関係の 8 月の公共工事(地元業者受注分)は 18 件 311 百万円で、平成 24 年 4 月～8 月の累計契約は 61 件 1,555 百万円と、前年同期累計比で件数は同数、契約金額は 217 百万円の増加となった。

諏訪地方の 7 月の新設住宅着工戸数は 107 戸で、前年同月比では 9 戸の増加(+9.2 %)となった。平成 24 年 4 月～7 月までの累計着工戸数は 340 戸で前年同期に比べ△11 戸(△3.1%)の減少となっている。また、長野県内の 7 月の新設住宅着工戸数は 1,033 戸で、前年同月比 2.0%増加と 2 ヶ月ぶりに増加した。

●雇用

諏訪地方の 7 月の有効求人倍率は 0.78 倍と、前年同月を 0.06 ポイント上回った。全国の同倍率は 0.83 倍、長野県の同倍率は 0.81 倍で、4 ヶ月連続で全国や県を下回る状況が続いている。

新規求人数(全数)は 1,324 人で前年同月比 13 人減少(△1.0%)し、新規求職者数(全数)は 947 人で前年同月比△61 人の減少(△6.1%)だった。産業別の前年同月比の新規求人数は、飲食店・宿泊業が 20.2%、卸・小売業は 17.9%増加したが、製造業では△21.1%減少した。

なお、7 月の 1 件 10 人以上の人員整理は 2 件 35 人、事業主都合による雇用保険資格喪失は 87 人で前年同月比 8 人増加、前月より△35 人減少した。

業種別動向

1.電気機械

プリント基板 プリンター	円高や欧州景気の影響で全体的に低調に推移し、収益率の低下もある。本体はほとんどが海外の現地生産へ移行し、国内生産は減少している。海外需要が鈍化し、一服感がある。
コンタクター・ リレー	工業用非常電源装置、JR関連などは堅調に推移しているが、コンピュータ関連の受注は企業の設備投資が少なく減少している。

2.輸送用機械

自動車	下請企業は、足元の受注は増加企業が多い。ハイブリット車を中心に堅調だが、国内外ともは価格競争は激しい。海外向けトラック生産は一服感。
ピストンリング・ シリンダーライナー	ピストンリングの製造は海外生産が主体になり、国内は減少傾向。欧州向けは低調に推移している。
船外機	親会社の生産台数の下方修正で、欧州向けを中心に、これまでよりは減少傾向となった。

3.一般機械

工作機械・専用機	大型機械が堅調に推移する所がある反面、中国、欧州の景気減速の影響で売り上げが伸び悩む所もあり、企業によって区々。
搬送用機械	需要があり、総体的には堅調に推移している。
金型	増減あるが、近年は低調な推移となっている。
ダイカスト	生産量は堅調に推移している。

4.カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの7月の生産台数は約796万台で前月比12.3%減少、前年同月比21.2%減少となった。7月の出荷台数は国内出荷約76万台、海外出荷約694万台の合計約770万台で、出荷台数全体では前月比9.5%減少、前年同月比は21.9%減少となっている。足元の受注は回復傾向になりつつある。ミラーレス一眼デジカメ部品の受注は、概ね安定している。
レンズ	海外シフトが鮮明になり、業界全体の受注が減少傾向。熟練工の技術が必要な超精密加工企業は国内で数が少なくなり、逆に強みとなっている。

5.織 維

ニット

秋物量産と冬物サンプルが始まっているが、動きは低調。従来よりシーズンに向けた量産の時期が短期間となっている。

6.食 品

寒天

道の駅など観光用は順調。再注文もある。

味噌

大豆などの原材料が急高騰し、収益を圧迫する状況。塩麴への特需がある。

7.製 材

地元建築業者の業況が回復せず、受注は低調。業者間で県内では諏訪地区の動きが一番悪いとの声もある。

8.建 設

公共工事

8月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所12件、施設課関係工事0件、林道治山工事関係1件、農地整備課4件、長野国道事務所等国関係0件、その他土木工事1件の合計18件、契約金額311百万円となった。また、平成24年4月～8月の累計契約は61件1,555百万円と前年同期累計比で件数は同数、契約金額は217百万円の増加となった。

市町村の8月の発注工事は、建築工事9件90百万円、土木工事及び下水道工事40件341百万円、その他工事5件19百万円の合計54件451百万円で、前年同月比で件数は33件減少、契約金額は159百万円の減少となった。年々減少傾向となっている。諏訪地方は業界が縮小傾向で、先の見込みより足元確保に注意が向いている。仕事量が減り、単独受注が難しいため、地元の大手業者の下請けとなって受注確保する動きもある。

民間工事

諏訪地方の7月の新設住宅着工戸数は107戸で前年同月比では9戸の増加(+9.2%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は16戸増加の90戸、「貸家」は8戸減少の12戸、「給与」は1戸減少の0戸、「分譲」は2戸増加の5戸となった。平成24年4月～7月までの累計着工戸数は340戸で前年同期に比べ△11戸(△3.1%)の減少となっている。

また、長野県内の7月の新設住宅着工戸数は1,033戸で、前年同月比2.0%増加と2ヶ月ぶりに増加となった。なお、前年同月比の利用関係別では「持家」が761戸で6.0%増加、「貸家」が194戸で12.2%減少、「分譲」が72戸で1.4%減少となった。

9. 商業

衣料	猛暑の影響で秋物衣料の立ち上がりが低調だった。
食料品	水分補給飲料の売れ行きが好調で、例年落ちる盆後も冷麺などとともに売り上げを維持した。果実が好調の反面、惣菜、寿司、肉類は低調だった。
家電製品	エアコン、扇風機など夏物商品には動きがあった。太陽光発電関連は好調。テレビは低調で推移している。
自動車	盆過ぎから減速。補助金終了を控え、反動減は予測するものの、割安な新車が増えたことなどで悲壮感は少ない。むしろ消費増税の行方が懸念材料。
ホームセンター	前半は盆用品やすだれ、扇風機などの夏物商品が好調だった。昨年ほど節電ムードが盛り上がりせず、緑のカーテン用園芸品の売上は伸びなかった。

10. 観光

上諏訪温泉	宿泊人数は前年同期比 90～130%で施設により区々だが、総体的には前年並みの売上を確保した。秋にかけて団体客予約はまだ鈍い。
蓼科・白樺湖 車山等	高山植物のシーズンで、山歩きや山登りのグループなど団体、家族客が増加した。前月比では大幅増の施設が多い。
下諏訪温泉	盆明け以降の動きがやや低調だった。
諏訪大社	参拝客は約 77 千人 前年同期比では上社、下社とも減少した。

★ トピックス 「ロンドン五輪効果」

日本選手が史上最多のメダル数を獲得したロンドン五輪は、諏訪地方の経済にも影響をおよぼした。スポーツ用品店では、「ボルト選手のシューズモデルはあるか」といった有名選手が使用する製品モデルへの問い合わせが多く寄せられ、「なでしこジャパン」をはじめ、男女とも注目されたサッカー用品の売り上げが急増し、他製品も合わせて全体で前年同月比 2～3 割増加した店舗がある。女子が初めてメダルを獲得した卓球とバドミントン用品は、夏場のレジャーでも気軽に使えるとあって人気があった。このほか、選手使用モデルのレプリカユニフォーム、ウェア、シューズ、マフラータオルの売れ行きが良く、「いつもと顧客の流れが変わった」と驚く店もあった。ただ、五輪種目からはずれた野球用品はあまり伸びなかったようだ。

コンビニでは、競技のテレビ放送が深夜になったため、自宅観戦する人がおにぎりやサンドイッチなどの軽食や酒類を求め、売り上げを伸ばした所が多い。猛暑の影響もあって特に飲料の売れ行きが好調だった。注目度の高い競技がある時の来店客の動向は夕方からにぎわい、放送時間になると客足が止まったという。

一方、自宅でテレビ観戦しながら飲酒する「家飲み」傾向もあり、飲食店では五輪期間中、来店客が早めに帰宅したり、減少した店も見られた。例年 8 月は減少期だが、拍車をかけた様相で「あきらめて五輪観戦をしていた」と言う経営者もあった。しかし、総体的にはロンドン五輪が、売り上げに大きな悪影響を与えることは少なく、好影響の方が勝ったと見られる。